

令和4年度 天使の園保育園事業報告書

I 施設の運営

① 令和4年度 職員動向

令和5年3月31日現在

職種 人数	園長	保育士		調理員		看護師	事務会計	幼稚園教諭
	正勤	正勤	パート	正勤	パート	パート	パート	パート
	1	9	3	1	1	2	1	1
小計	1	12		2		2	1	1
合計	19名							

② 4年度児童の動向（入園日 毎月1日付 退園日月末）

年度 月	進級	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	充足率
新入園児		9	3	0	1	1	5	1	0	0	0	0	2	22	
在園児	55	64	67	67	68	68	73	73	73	73	73	73	75	847	117.6%
退園児		0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	16	18	
3年度		70	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	72	862	119.7%

③ 職員会議他開催状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
職員会議	4/19	5/18	6/22	7/19	8/17	9/20	10/25	11/18	12/21	1/19	2/22	3/16 3/23.	14
ミニ会議	4/22	5/19	6/23	7/20	8/18	/	/	11/21	12/22	1/23	2/24	3/16	10
各種委員会	危機管理委員会 環境部 地域子育て支援部 園内研修委員会 図書委員会 食育プロジェクト委員会 給食部委員会 衛生管理部 研修委員会												
新任職員勉強会	保育士1名 内容：法人の起源と精神 基本方針 理念 等												

※職員会議中（13：25～14：30）は短時間勤務者に子どもの午睡中のチェックを依頼、

短時間勤務者には後日開催。時間が取れないときは会議に参加した職員に伝言を依頼。60分では消化できないことも多かった。

※会議中は研修報告まではできないので今年は、研修報告書を回覧しての報告となった。

※職員会議を子どもの午睡中にするようになってから12年経過するが職員の勤務外の負担が軽減されたことはよいことであるが時間に追われる形になっている。

※今年度は各種部会の活動の振り返りが十分ではなかったが、少しずつ自主的な流れができていように見える。

※子どもの午睡中に数多くの目には見えないところでの業務を消化していることに驚きとともに感謝したい。今年度は職員の積極的な動きが目にとまった。特に大きな行事等に関しては計画的に取り組みスムーズに運営されていた。

※職員会議の前に法人の精神について園長は短い講話に取り組む。会議の短い時間の中で小さいことの積み重ねを経験されることは必要なことと思っている。職員も宗教や思想も異なる中で同じ精神で子どもたちの命に仕えることは大変な努力が必要だと感じる。法人の精神が柱にあり、本園の精神の中心にないといけないことも事実であろう。大切なことと思う。創設者の書物や法人から出されている資料等を踏まえながら、十分ではないが続けている。

④ 保育活動の実践

保育理念（事業運営方針）	キリストの教えに根ざして 【法人標語＝一つの心一つの魂】
基本（保育）方針	一人ひとりを大切にする保育＝丁寧＝
保育目標（0歳児）	心身ともに健やかな子ども（健康な体 感性豊かな子ども）

一人ひとりが神さまから与えられた「いのち」を大切に育み、身体的個性や養育環境による発達過程を大切にしながら、意欲を持って生活する子どもを育てる保育を目指し人格形成に努める。

心身ともに健やかな子どもの発達を目指して、健康な体 感性豊かな生活ができるように努める。

十分に養護のゆきとどいた環境のもとに、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を適切に満たし、生命の保持及び情緒の安定を図る。

健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う。

人とかかわりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして自主、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。

自然や社会の事象に興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考力を培うと共に、喜んで話したり、聞いたりする態度や豊かな言葉を養う。

*上記は0歳児の保育目標であるが5歳児まで、年間を通してそれぞれの目標に向かって保育に取り組んでいる

<p>1) 行事の取組</p>	<p>コロナウイルス感染症拡大に伴い季節の行事等々においては、中止、縮小等々が挙げられる</p> <p>予定通り実施： 始園式 こどもの日祝福式 お見知り遠足 環境学習 七夕まつり お泊り保育 秋の遠足 園外保育ボランティアの日 七五三祝福式 焼き芋会 縄跳び大会 修園遠足 だご汁会 かるた大会 ひな祭り会 お別れ会</p> <p>縮小した行事： 幼年消防クラブ編成式 クラス懇談会 聖母行列 運動会 敬老の集い マラソン大会 育参観 クリスマスお祝い会 幼年クラブ終了式 卒園式</p> <p>中止した行事： 入園式 保護者の会総会 卒園児交流会 保護者個人面談 夏祭り A年長児クラスクリスマスミサ参加 餅つき会</p> <p>行事の取組について 上記の通り実施、縮小、中止等々が相次ぐ中でその時にできる範囲内で変更等を加えながら実施してきた。コロナ禍の中ではあったが野外活動であったこと、人数も少数であったこと等を考えると恵まれていたと思う。特に子どもたちの発達と体験活動を考えるとどうしても消化してあげたい活動であった。なお保護者の皆様もこれらの案を快諾され逆に感謝され協力的であった。</p>
<p>2) コロナ禍における体力づくり</p>	<p>体力づくり コロナ禍の中ではあったが恵まれた環境の中で、子どもたちは外での活動を制約することなく伸び伸びと活動していた。プール活動 運動会等々の活動や準備段階においても子どもたちの発達や活動にこれまでと同じく見劣りすることはなかった。</p>
<p>3) 歌のレッスン</p>	<p>毎月第1 第3火曜日</p> <p>*歌はレッスン13年を終了 レッソンの効果は絶大である。 今年度は3/12 県立劇場においてお花見コンサートに賛助出演できた。 *卒園する子ども達はこの歌のレッスンを通して、はっきり発音する事、声を出して自分の用事を伝えられること、自分の考えをまとめて他に伝えられる子どもに成長する学習のチャンスが与えられていることを感謝したい。</p>

4) ダンスの レッスン	毎月第2 第3 火曜日	*ダンスのレッスンは楽しみながら全児童が体力向上を目指し、よい効果を上げている。 *体全体でリズムを取りながら全身で踊ることは非常に益あることと思う。体力向上とリズムカルに身をこなすことは子ども達の心身の平衡を保つのによいことと思う。		
5) 体育教室	毎週 水曜日 年長組	*年長児は年間を通して各種の技能も卒園までには身に付け、健全育成と就学前の準備を実践することが出来ている。 *季節に応じた体力づくりを行い十分な指導と活動の中で実施されている。		
6) 親子参加行事	*今年度はコロナ禍の中、保護者参加の行事は縮小となり保護者の参加なしで子どものみで実施した行事は多かった。やむを得ない状況であったため保護者の皆様も了解されていたようである。			
7) 保育参観 保護者支援 個別面談	*行事等が縮小になったこともあり、保育参観にはほとんどの保護者が参加されていた。 *個別面談等々の相談等に於いてはその都度対応する。ただ行事としての取組は避けた。			
8) 保護者との連携	※連携手段 ※「保護者の会」 との関わり ※諸行事の協力	連絡帳 園便り クラス便り 隔月発行のすくすく便り（保健衛生） 隔月発行の給食便り（食育） 送迎時の個別対応 *お便りやアンケート等に対して保護者からの反応が少ない。 *今年度で12年目に入るが1歳から3歳までの「フッ素塗布」の年間3回分の代金と薬品代を「保護者の会」の会費の中から拠出、4～5歳児の年間通しての《オラブリス洗口用顆粒 11%》液は熊本市からの支給。すべての子どもに公平性が図られ健康維持と向上が図られていることはありがたい。 * 殆どの行事はコロナの為縮小のため保護者からの支援はなかった。		
9) 3歳以上児の 虫歯保有者数	年度	R4	R3	R2
	被保険者数	39	38	39
	虫歯保有者数	11	5	8
	虫歯保有者率	28.2%	13.1%	20.5%

*保護者に治療を進めるも受け止める保護者も限定的であり期待が持てない部分もある。 就学前になってばたばたと治療に連れて行かれる方もあったがそれはまだ良しとしても、虫歯のままでの生活や活動に影響してくるであろうことを考えると、園としてももっと真剣に訴える必要があるかもしれない。子どもたちの心身の健康を保障するためには必要なことと思われる。

10) 宗教教育と園内月目標

月	宗教目標	全 体 目 標		月	宗教目標	全 体 目 標	
4月	復活	感謝	ありがとうの心	10月	天使	親切	優しい親切な心
5月	マリア様	協力	約束を大切にし助け合う心	11月	神への賛美	労働	喜んでお手伝いをする心
6月	イエス様	自制心	我慢する心	12月	主の誕生	献身	人に尽くす心
7月	自然界	尊敬	人を大切に思う心	1月	聖家族	自信・計画	自分で考え選び取る心
8月	平和	自主性	よいことを進んでする心	2月	主の友達	自覚	自分のことを人に伝える強い心
9月	めぐみ	寛容	誰とでも仲良くする心	3月	感謝	希望	卒園・進級を喜んで迎える心

*「神様がいつもともにいてくださる」ことを通して命の大切さを知り、ともに生きていくことの大切さ、

集団生活の中で学ぶことの大切さを保育の中で伝える。

- *「神様のお話の時間」：園全体として定着してきた。保護者や地域の方々からも「法人（保育園）としての理念 方針」がはっきりしているので安心して預けられるとの評価もある。
- *聖歌 祈りが保育の中でスムーズに溶け込めるような雰囲気の日頃の保育の中で大切にしている。祈りを遊びや何気ない戯れの中でも聖歌を歌ったり聖歌の替え歌を作ったりしている歌が聞こえてくる。神様がいつもともいってくださることへの信頼とお互いが大切にしたい心が育ってくれたらと願う。
- *聖歌の声がきれい。歌のレッスンによって発声が身についてきているように思う。
- *神様のお話の方法：紙芝居 素話 DVD。週の始めの月曜日の最初の時間を『神様の話の時間』として設定している。保護者の声として・・・神様の話と接して「心の教育」をしていただけるので子どもたちも優しく素直に育ってくれて嬉しいとのことが何通も届いている。

11) 安全・危機管理について

- *送迎時の駐車場の有効利用については毎度注意を繰り返し続けたいといけない。駐車状況が良くない。自分勝手に人のことは考えなしに好きなように駐車する人もある。駐車場内での立ち話が目立つ。
- *安全管理についてのマニュアルは H23 年度に作成済みであり、その都度注意を促すための文書も配布しているが、やはり同じことを繰り返さないといけないようである。
- *年度の始めまた途中からも「駐車場の利用に関して」のプリントを配布。今年度は数回注意を呼び掛けるが効果がない。お迎えの状況にしても禁止事項が守れず、直接注意をしても響かない保護者が何組もあった。注意事項を根気よく伝えたりしている。
- *建物の管理 遊具の管理 戸締り 火気戸締り 等々に関しても十分な注意を払い、日誌に記録するなどして努めている。

12) 意見要望等に関する報告

日	内 容	検 討 結 果
4 .6.1	送迎時の駐車場の使い方でもナーに沿った正しい使い方ができていないのが目につくとの事。	保護者からには、毎年駐車場の使用についてのお願いのプリントを出していたが、今年はお出してなかったのですぐ次の日にプリントを配布した。
8.3	6月同様で駐車場の使い方について、縁石までで止めていないので迷惑するので、注意してほしいとの事だった。	前回の様にプリントも出せないで、様子を見て相手方に伝えるということをお伝えした。

13) 交通安全指導日誌

月	ひよこ組	りす組	うさぎ組	ぱんだ組	きりん組
4					
5					
6					
7					
8					
9					・お泊り保育(カントリーパーク)電車、タクシー
10	・秋の遠足(渡鹿公園)→徒歩			・秋の遠足(中川鶴公園)→徒歩	
11	園外保育(渡鹿公園)			園外保育(堂免公園)→徒歩	
				・勤労感謝デー(県警機動隊)B→徒歩 (中央消防署)A→徒歩	
12					・シルエット劇場(市民会館)→バス、徒歩
1					

2					
3	・散歩(渡鹿公園)→徒歩	・散歩(渡鹿公園)→徒歩	・散歩(渡鹿公園)→徒歩	・散歩(渡鹿公園)→徒歩	・修園遠足(熊本博物館・二の丸公園)→バス、徒歩 ・散歩(渡鹿公園)→徒歩
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は新型コロナウイルスも少しずつ収まり、年長児が交通機関に乗れる機会も増え、良かったと思う。 ・紙芝居や絵本等を通しての交通安全指導が乏しい。様々な形で交通安全・交通ルールについて触れていけると良いと思う。 				

14) 絵本貸し出し利用状況

・絵本貸し出し利用状況

月	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週	計
4	新型コロナウイルス感染拡大防止の為 貸し出し休止					
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
1						
2						
3						
合計						

15) 絵本貸出し状況

・過去との比較

年度	貸し出し日数	年間貸し出し数	1回平均
令和元年度	27日	1090冊	40冊
令和2年度	6日	231冊	39冊
令和3年度	0日	0冊	0冊
令和4年度	0日	0冊	0冊

年度	年間児童数	年間貸し出し冊数	絵本登録冊数	紙芝居登録冊数
令和元年度		1090冊	2549冊	622冊
令和2年度		231冊	2533冊	662冊
令和3年度		0冊	2538冊	690冊
令和4年度		0冊	2538冊	718冊

・今年度の取り組み

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止により図書の貸し出しが無いため、新しく図書ウィークという子どもたちが絵本に親しみ、触れる機会を設けた。月1回、1週間図書室を開放し以上児は自分たちで図書室へ行き、読みたい絵本を手に取り椅子に座って読む。未満児は職員が何冊か選び、集まりの時に子どもたちに選んでもらい読み聞かせを行った。特にきりん組の子どもたちは反応が良く、図書ウィークが終わると「次の図書ウィークはいつかな？」と呟くほど気に入っていた。

・感想、反省

- ・追加の絵本や紙芝居はこまめに登録するように心がけた。
- ・今年度の新しい絵本はなく紙芝居が28冊と例年より多かった。
- ・昨年度掲げた目標を達成することができた。

・次年度に向けた意見

- ・図書だよりは貸し出しがなくても最低でも年2回は発行する。
- ・絵本の貸し出しの再開がいつでもできるように準備をする。
- ・貸し出し用の園児バーコードは年度初めに新たに作成する。
- ・図書ウィークについては新型コロナウイルス感染症の状況に応じて実施するかどうかを検討する。

II 健康管理の実施状況

内科健診結果報告

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0/64	2/66	0/66	1/67	0/67	5/72	1/73	0/73	0/73	0/73	0/73	2/75

R4、5、16

ひよこ組（0歳児）	（全員出席） 全員異常なし
りす組（1歳児）	（欠席者：2名） 全員異常なし
うさぎ組（2歳児）	（欠席者：3名） 全員異常なし
ぱんだ組C（3歳児）	（全員出席） ・F…側弯症疑い
ぱんだ組B（4歳児）	（全員出席） 全員異常なし
きりん組（5歳児）	（全員出席） ・全員異常なし

※欠席者は後日受診致します。

後日受診、途中入園

ひよこ組(0歳児) ・9名
りす組(1歳児) ・2名
うさぎ組(2歳児) ・3名
ぱんだ組C(3歳児) ぱんだ組B(4歳児) ・1名
きりん組(5歳児) ・1名

R4.11.16

ひよこ組（0歳児）	（欠席者：1名） 全員異常なし
りす組（1歳児）	（欠席者：1名） 全員異常なし
うさぎ組（2歳児）	（欠席者：1名） 全員異常なし
ぱんだ組C（3歳児） ぱんだ組B（4歳児）	（欠席者：1名） ・F…側湾症向 （欠席者：1名） 全員異常なし
きりん組（5歳児）	（欠席者：2名） 全員異常なし

3) 蟻虫検査

採取日・・・4.5.10～5.11	報告日 4.5.23	全園児（一）
検査費用・・・一人121円 保護者負担		
検査目的・・・プール及び水遊びを行うため。		
検査会社・・・パソラボ 熊本市		
*検査及び費用に関してはH29年度より園の選択に任されている。当園としては感染症等に対応するため継続している。		

4) 口腔衛生

指導医師	囑託歯科：よしぎき歯科医院	場所：園より徒歩3～4分程度の位置
フッ素塗布	対象児：1歳児～3歳児 年3回 費用：全面的に保護者の会負担	薬品代：26年度途中までは園負担 それ以降は保護者の会負担
フッ素洗口	初回はH15.11.10開始 18年5カ月	対象児：4歳児～5歳児 28名 月～金曜日励行
評価	目に見えて効果を論ずるところまではないと思うが、今後も続けたい。 虫歯に罹患した子どもの治療に保護者の方も積極的であってほしいと思う。 依然と比較すると罹患児童とその本数も減っているように思うがどうしても罹患者は多い。	

5) 歯科検診受診数

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	0/64	2/66	0/66	1/67	0/67	5/72	1/73	0/73	0/73	0/73	0/73	2/75

歯科検診受診状況と結果・・・R4.5.27

ひよこ組（0歳児）	（欠席者：なし）全員異常なし
りす組（1歳児）	（欠席者：なし）全員異常なし
うさぎ組（2歳児）	（欠席者：1名）全員異常なし
ぱんだ組C（3歳児）	（欠席者：なし）・1名…虫歯8本（シーライト）

ぱんだ組B（4歳児）	（全員出席）・T…観察1本・N…観察1本 ・K…観察2本虫歯2本　・M…乳欠損1本
きりん組（5歳児）	（全員出席）・F…虫歯1本　・N…虫歯1本　・H.T…虫歯1本 ・H.K…虫歯2本　・T…虫歯3本

※欠席者は後日受診致します。

6) 園内投薬預かり状況

月	ひよこ組0歳	りす組1歳	うさぎ組2歳	ぱんだ組3、4歳	きりん組5歳	計
4				1		1
5		1	1	1		3
6			4			4
7			1	1		2
8				4		4
9			1		2	3
10		2		2		4
11	1	1	1	3	1	7
12				1		1
1	1			2		3
2				1		1
3						
計	2	4	8	16	3	33

2歳児、3歳児の投薬依頼が多い。

投薬の依頼は例年の半分ほどでとても少なかった。

冬時期、鼻水が出ている子が多く見られたが園での投薬が意外にも少なく、家庭での朝・晩のみでの投薬が増えてきているように感じた。

11月ごろから風邪が流行し始め、投薬が多かった。

7) 登園許可書提出状況

目的と主旨＝保護者の自己診断による受診拒否と集団生活による感染防止

*当園の「運営管理規定」第24条保健衛生管理に従い《・・・環境衛生の保持に心がけ、衛生知識の普及、伝染および伝染性疾患の感染防止を行い、入園児の保健衛生について…実施しなければならない》のもと感染性の疾患が明らかになった園児に対して自宅養生を指導し、登園の際には登園許可書の提出を求めている。第21条（同上）子ども又は子どもの同居家族に伝染病の発生により、他の子どもに感染する恐れがあると園長が認めたときは休園を命じることが出来る。

病名	ひよこ組	りす組	うさぎ組	ぱんだ組	きりん組	計
胃腸炎						
流行性角結膜炎						
突発性発疹症	1					1
アデノウイルス			1			1
ヘルパンギーナ	2	2	2	1		7
RSウイルス感染症	4	1	4			9
計	7	3	7	1		18

◎コロナウイルス対策、予防を徹底していたこともあってかインフルエンザが1人も出なかった為、今後も維持していけたらと思う。

◎未満児を中心にRSウイルス感染症やヘルパンギーナが流行した。

◎年長児クラスが1年間一人も大きな病気をせずに登園できたのはすごいことで、喜ばしく思う。

8) 病児連絡状況 保育園 → 家庭

	ひよこ	りす	うさぎ	ぱんだ	きりん	計
発熱	21	25	19	6	8	79
発疹		3	2			5
下痢			2			2
顎の打撲、腫れ					1	1
咳		1				1
嘔吐	1	1	1	2	1	6
頭痛					2	2
アレルギー症状			1			1
目の腫れ	1	2	2			5
計	24	32	27	8	11	102

- ・発熱が例年と比べてかなり多かった。
- ・今年度はアレルギー症状が出た子が見られた為、職員全体で情報を共有し厳重な注意が必要だと感じた。
- ・皮膚トラブルを抱えている園児が今年も目立っていたように思う。それにより塗り薬を持ってくる家庭が増えてきている。

年 度	年間児童総数 (名)	年間罹患児 (名)	罹患率 (%)	年間児童数は制度改革等により変更が大きい。ここでの罹患児は園から家庭に連絡をさせて頂いたケースのみの統計
令和4年度	847	102	0.12	
令和3年度	862	100	0.11	
令和2年度	915	110	0.12	

9) 園内事故発生状況

- ・例年と比べ、怪我や事故等の受診が少なかった。
- ・今年度は環境整備というよりは子どもの誤った遊具の使い方が原因での怪我だったため、子どもたちと

日時 性別 年齢	事故の場所と状況結果	応急処置の内容	保護者への連絡・報告
4.6.2 (木) 男児(5歳10か月)	友達と鬼ごっこ中逃げていた本児は滑り台の滑るところの下から登っていき、挟みうちされたので、滑り台の真ん中辺りから、飛び降りたが着地ができず顎を地面に打った。	氷で顎を冷やす。	外遊び中に滑り台から転落し、顎を強く打っており、本人もパニックでうまく話すことができない為病院を受診することを連絡する。保護者の方で受診しますとの事ですぐに迎えに来られ病院へ行かれた。骨には異常はないとの事であった。

外遊びでの約束事を再度確認し、再発防止に努めたいと思う。

10) 「すくすく便り」・・・隔月発行

号数	発行月	内容	号数	発行月	内容
91号	5月	夜更かしがいけない5つのワケ	94号	11月	インフルエンザ予防接種 鼻水・鼻づまり 動きやすい服装について 健康な体作りについて

92号	7月	夏バテの予防法について 夏の栄養補給 夏かぜについて	95号	1月	寒い時期の怪我や病気に注意 鼻水のかみ方、鼻水の色について
93号	9月	9/1 防災の日 生活リズムを見直そう 救急用品の点検	96号	3月	中耳炎や外耳炎の原因について 花粉症への対処 子どもの気持ちの変化について

- ・今年度はその月に気になった点や、流行した病気についてピックアップし、内容を絞って詳しく書いた。また、風や体調不良等の症状が出た場合に、家庭でも迅速に対応できるよう分かりやすく、対策や注意点をまとめた。
- ・コロナウイルス感染症が流行したため、直接内容に触れることはしなかったが常に予防ができるような内容は取り入れた。

11) 食育便り＝今年度の年間テーマ 【食生活で大切なこと】

号数	発行月	内容	号数	発行月	内容
79号	4月	食育って？	82号	10.月	手づかみ食べについて
80号	6月	食中毒に注意！	83号	12月	風邪予防と食生活について
81号	8月	夏を元気に過ごすポイント	84号	2月	箸の持ち方と食事の姿勢について

Ⅲ安全管理について

1) 非常災害対策訓練実施報告

実施日	設定	園児数	職員数	感想・反省・特記事項
4/18	幼年消防クラブ 結成式	14/14	3/20	・新型コロナウイルス感染症の影響により、消防署の来園はなし。DVD の鑑賞により火事等のことを学んでいた。
4/26	火災 火元：調理室	56/64	15/20	・サイレンの音に気付いて静かにし、指示を待つて避難できた。 ・数名逃げ遅れがあったので、保育室に端から端まで伝達することを心掛ける。
5/16	火災 火元：調乳室	61/67	19/20	・調乳室と調理室を間違える子が多かった。また、避難なのに靴を履いたり、帽子を被ろうとする子がいて、避難優先なことを伝える。
6/16	地震、火災 火元：調理室	64/67	16/20	・地震の時に机がないときは、押入れに入るようになった。 ・未満児1名テラスに取り残されていたので、気を付けたい。
7/27	火災 火元：調理室	46/67	11/19	・口に手を当て避難する子どもも多く見られた。煙を吸わないように避難する大切さについて話もあった。
8/25	水難訓練 発生場所：未満児 (消防署の来園なし)	59/68	13/19	・看護師がお休みでの訓練になった。 ・笛が鳴ってもなかなかプールに入っている子どもたちが動かなかった。 ・年齢別の心肺蘇生の訓練を行えたらと思う。

8/31	火災 火元：ヒロセ側隣家	62/68	12/19	・サイレンは、何度か鳴らさないと届かないことがあると反省した。 ・エアコンの消し忘れが多い。
9/26	火災 火元：学園大男子寮	69/73	17/19	・未満児は午睡時だったので、起きずになかなか慌ただしかったが、手伝いに来てくれ、スムーズだった。
9/27	台風時における迎 えの準備 待機訓練	67/73	18/19	・実際の大きな台風の後だったので以上児は身の危険を感じていた。静かに落ち着いて行動できた。
10/26	火災 火元：調理室	65/73	17/19	・サイレンや声がひよこ組まで聞こえておらず、全体に聞こえるように鳴らさないといけないと思った。 ・慌てて椅子が出しっぱなしの子もいた。
11/28	火災 火元：修道院	65/73	17/19	・未満児の職員が出火に気づき、近くの職員に知らせ、その職員が笛で知らせた。いつもと違うため子どもたちもいつもより動いていた。
12/20	火災 火元：外の倉庫	56/73	16/19	・今回は鍋と棒を叩いて知らせた。いつもと違うので、何なのかといつもより耳を澄ませていた。いつもと違う音というのもいいと思った。
1/23	熊本市で地震(強 度)及び地震による 火災 火元：調理室	60/73	12/19	・負傷者がおり、看護師におり処置をしてもらっていた。 ・おしゃべりが多い。
2/15	火災 火元：公務員住宅	69/73	14/19	・お集まり中でサイレンに気づきにくいクラスがある。 ・子どもたちは逃げるときに逃げることに必死で走ってしまうことが多いので、急ぐ気持ちはありつつも、焦らないことを伝える。
3/8	幼年消防クラブ修 了式	15/15	3/20	・1年間のまとめとして消防士の方からのお話を聞き、改めて火の扱い、避難の大切さを学んでいた。
3/22	火災 火元：職員室	63/73	17/19	・サイレン、どこから出火かしっかり聞いてスムーズに避難できていたが、しゃべったり遊具を触ったり、落ち着かない。
備考	初期消火は基本調理師が行っているが、火元が調理室から遠い場合は近くの職員が行うようにする。			
反省	・時折、サイレン、声が届いていないことがあったので、全体に聞こえるようにしていけないといけないと改めて思った。 ・サイレンや、笛での避難は慣れてきたが、いざ避難を促すとき、咄嗟に近くのもので促したりすることもあるかと思うので、時には違うもので訓練したいと思った。			

IV 安全点検状況

①遊具

点検日	破損箇所	対応
	特になし。	

②施設 設備

点検日	破損場所	対応
2/28	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼんだ組前のデッキの釘が出ている。 ・水道の水の出るところの網が取れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出ている所をガムテープで補強した。 済
3/22	<ul style="list-style-type: none"> ・きりん組のドアのストッパーがとれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・テープで補強した。 済

③「火気（施設）関係」自主検査チェック表（日常）

* 毎日居残りの職員によってその日の最終チェック

（内容：各クラス及び職員室 遊戯室 多目的ホール 調理室 教材室等の施設等
冷暖房確認時の時間帯記入）

V 危機管理

1) ヒヤリハット

月	月日	年齢	性別	内容
4月		2歳児男児		アレルギー ・小麦アレルギー(レベル5)だが、麩のラスクを間違えて提供してしまい、5～10粒食べてしまった。職員が麩の原材料を確認しなかった。
6月		5歳児男児		転倒 ・鬼ごっこに夢中で滑り台を逆から登り転倒。顎を強打したが、骨に異常はないとのことであった。
9月		2歳児男児		その他 ・トイレに連れて行き、少し目を離れた隙にひよこ前の園庭に出ていたのをひよこの職員に保護される。
				種目別
		アレルギー 1	転倒 1	
		その他 1		

2) 防犯訓練

月	設定	ねらい	幼児の活動	反省・改善点・特記事項
5/30	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関から園庭に侵入 ・笛で合図 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急時の笛の使い方 ・役割分担と内容確認 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の指示に従い速やかに室内入室。 ・笛の合図で危機を感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笛の習慣がまだ浸透していない。 ・笛で合図することを全体で周知できるようにしていきたい。
8/10	<ul style="list-style-type: none"> ・玄関から室内に侵入。午睡時 	<ul style="list-style-type: none"> ・午睡時の対応の仕方 	<ul style="list-style-type: none"> ・放送、笛で起きたり、起こしてもらったりし、騒がずに一か所に集まる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・以上児は、不審者に気づき、集まることができたが、未満児は気づかずに起きない子が多かったので、起床を促すべきか、そのまま静かに集めて待機すべきか悩んだ。 ・未満児は、侵入してすぐのところなので、対応を急ぐ。

9/26	<ul style="list-style-type: none"> ・園庭で遊んでいる時の不審者の対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員間の連携の取り方。 ・避難誘導。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者から離れ、身を守る。 ・保育士に不審者の存在を知らせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋の前に立っていても気づかれなかったりしたので、保育中も周囲に気を付きたいと感じた。 ・未満児の職員は、俊敏な動きが大切。
11/28	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者が裏門からホールに侵入。 ・避難時怪我人が出た。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不審者隔離の方法。 ・負傷者の対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・未満児は、不審者というより、火災と捉えられて状況を把握できない子もいた。 ・以上児は、落ち着きがなかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・スムーズにカギを閉めることができた。 ・玄関のカギが開いていたので気を付けたい。
1/31	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育時の不審者対応。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園外保育時の不審者への対応。 ・地域との連携。 	<ul style="list-style-type: none"> ・すぐに不審者から離れ、職員の指示に従う。 ・子ども避難の家へ駆けこむ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・園外で不審者と遭遇した時のほうが、恐怖が大きい様子。 ・避難した後も、怖がった為、急遽応援を呼ぶ。
3/16	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外遊び時園の職員駐車場より侵入。 ・手には凶器。 	<ul style="list-style-type: none"> ・笛の合図で知らせる。 ・不審者から子どもを守るための避難の仕方。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の笛の合図で部屋へ避難する。 ・2次避難でホールへ移動する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全体的に戸締り、避難がスムーズだった。 ・ホールのカギ、カーテンは無理せずに落ちてから行くようにする。
反省	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちの防犯への意識もしっかりしていて、避難も年々スムーズになってきている。 ・今年度は、笛の合図での避難を徹底してきた。子どもたちの笛への意識づけもしっかりできたように思う。 			

3) 業務委託契約締結および実績状況

業務内容	委託業者名および実施状況
消防用設備点検	末吉商会 KK 熊本市中央区新大江2丁目17-10 TEL 096-362-2395 実施日 = 6/21 11/14
非常通報装置保守点検	テルウエル西日本 KK 大阪市中央区森之宮中央1-7-12 TEL 092-452-1518 熊本地区担当 096-361-5071 実施日 = 4/7 7/5 10/14 1/11
空調機フィルター点検	西部ガスリビングKK 熊本市中央区萩原町14-10 冷暖房フィルター・室外機メンテ TEL 096-370-8680
電気保安管理業務	九州電気管理技術者協会 電気管理技術者 会員 池辺慎一郎 熊本県鹿本郡植木町小野 1022-7 TEL 096-273-4627 携帯 090-3609-2765 実施日 = 1回 / 月
生ごみ処理機定期点検	生ごみ堆肥化研究所 熊本県八代市触柳上町 746-13 TEL 0965-33-8407
園庭樹木芝花等管理業務	(有) わかまつ造園 熊本市西梶尾町 559-13 TEL 096-245-2232 実施日 = 年間通しての芝生 樹木維持管理

VI 給食および食育活動

① 年長児クッキング	月日	内容	感想及び課題
	9/9	お泊り保育 カレー作り (人参 玉ねぎ ジャが芋)	・お泊り保育でテンションが高く、包丁を使うので少し落ち着くように話をし、始めた。包丁の使い方が慣れている子、不慣れな子といたが見ていてヒヤッとする場面があった。子どもたちは楽しく取り組み、自分で切った野菜が入っているカレーが美味しく沢山お代わりをしていた。
	10/24	サンドイッチ作り (食パンにジャムやマーガリンを塗り好みの大きさに切る)	・おやつクッキングは初めてで少し落ち着きのなさもあったが、自分の番になると包丁も丁寧に扱い自分で作ったジャムサンドを本当に喜んで食べていた。
	11/15	フルーツヨーグルト (果物を食べやすい大きさに切り、ヨーグルトと和える)	・果物によって切りにくいものがあったが、子どもたちなりに考えて切ろうとする姿が見られた。包丁の持ち手ではない手を猫の手にすることを再度伝えないと危ない子がいた。
	1/24	三色団子 (三色それぞれの団子を丸め、熱湯の中に入れ、浮いた物から取り上げる)	・団子を丸めて鍋に入れる作業を楽しんでおり、やっていくうちにコツをつかんでいる様子だった。三色で味が違うので、1つずつ味わいながら食べ、違いに気づいていた。
	2/21	ホットケーキ (生地を作り、ホットプレートで焼き、ひっくり返す)	・ホットケーキを自分で焼いて、ひっくり返したり、卵を割るのも初めての子がいて、とても新鮮で楽しめたようだった。家でも作ろうと材料を覚えていた子もいた。
	3/6.7	クッキー作り (生地を作り、好みの型で抜き、飾りつけをする)	・生地作りでは、粉に材料を混ぜてどんどんまとまっていく様子が面白かったようで、不思議そうに作り方を教わっていた。力を込めて混ぜていくのも楽しかったようだった。 ・型抜きは、手順や約束事をよく聞いて守っていた。型抜きの難しさも感じていたようだったが、それ以上に楽しさが勝ったようで友だちと見せ合いながら丁寧に取り組んでいた。

② 全体クッキング	月	内容	感想及び課題
	5月	グリンピースの皮むき	・誕生会で食べるグリンピースの皮むきをリス組から実施する。小さい子は食べ物だとわかると嬉しそうに寄ってきてグリンピースを手でつまんでボールに入れたりした。皮をむくと中に沢山グリンピースが入っていることに驚いており、数を数えたり匂いを嗅いだりして、とても興味を持っていた。グリンピースは苦手な子が多いが少しでも食べてみようという気持ちにつながると思う。
	6月	カレー・フルーチェ作り	・子どもたちに野菜の皮むきと切り込みをしてもらい、全園児一緒に食事を楽しんだ。じゃが芋は皮をむくとヌルヌルすることに気づいたり、包丁を使うときの猫の手を意識したりととても興味を持って取り組めた。一人ひとり真剣に取り組んでいた。カレーを食べることに期待を持っていた。

			フルーチェは職員がみんなの前で作って見せ、こどもたちは「なんでプルプルになるの？」と興味津々で見ている。
7月	スイカの収穫・スイカ割り		・スイカを割ったときに黄色のスイカが一つあったことにとっても驚いていた。赤いスイカと食べ比べをして「黄色は甘くない」と話し、種の色も赤色だと気付いたりして違いを知ることが出来たようだ。小さいクラスはスイカを棒で叩いて割る“動作にみんなポカンとしていた。スイカは種が多く取り切れずにそのまま渡したが上手に口から出していた。
1月	団子汁会		・みんなで団子を丸め、それを給食で提供する。小さい子も保育者が丸め方を教え、粘土遊びのようにして感触を楽しみながら、自分たちで団子を丸め、食べる時は自分たちが丸めた団子が入っていることを伝えた。自分で作ったものを食べる喜びを味わった。
2月	焼き芋会		・小さい子も濡れた新聞紙とアルミホイルでお芋を包んだ。上手く巻けなかったりしたが自分で作った焼き芋はまた格別だったと思う。自分たちで作った焼き芋はおやつの時、全園児みんな外で食べたので、いつもより別格だったようで、甘さや美味しさを良く感じながら、いつもよりたくさんお代わりをしていた。

③ バイキング	クラス (年齢)	実施月	感想
	A (5歳児)	4月 7月 10月 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は思ったより自分の食べきれる量が把握できない子が多かった。 ・いつもと違う場所で食べられることが楽しく、おしゃべりが弾んでいたが、おしゃべりが多く、時間がかかる子が多かった。
	B (4歳児)	5月 9月 11月 2月	
	C (3歳児)	2月	
	以上児合同	8月 12月 3月	

④ 新メニュー

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
品数	2	2	3	5	3	3	1	3	1	3	2	3
感想	<p>・今年度は、昨年度に続き汁物を多めにメニューに取り入れ、季節の野菜を取り入れつつ新しいメニューでも食べやすいように工夫して取り入れてみた。野菜が苦手な子が増えてきているので、食べやすいように工夫しつつ「これは食べられる！」と自信につながるよう取り入れてみた。おやつは新しいメニューでもよく食べてくれていたので良かった。</p>											

⑤ 手作りおやつへの取り組み

幼児期は消化吸収能力も未発達のため、成長や運動に見合った栄養を取ることが出来ない。そのため、おやつはこうした栄養を補給するために提供している。おやつ時には子どもの苦手な野菜などあまり好んで食べない食材を好みのおやつに入れて摂取するように工夫した。おやつは昔ながらのおやつを取り入れつつ、季節感の出るようなものにした。また甘いものだけではなく、おにぎりや団子など腹持ちの良いものも取り入れた。

⑥ 菜園活動

プランター	夏	冬
ひよこ組 (0歳児)	ピーマン トマト なすび パセリ トウモロコシ	
りす組 (1歳児)	トマト なすび ピーマン パセリ トウモロコシ	
うさぎ組 (2歳児)	ゴーヤ パプリカ ミニトマト	
ぱんだ組 (3～4歳児)	ミニトマト なすび さつまいも	
きりん組 (5歳児)	きゅうり おくら	
畑	すいか	玉ねぎ じゃが芋

感想

・各クラスで子どもたちと話し合い、植えたい野菜を決めたり、畑に植える準備を手伝ったりして興味を持つように取り組んでいた。自分たちで育てて収穫した野菜が給食やおやつで出たりすると苦手でも食べることを楽しみにし、採れたての味を楽しんだ。土の感触を楽しみつつ、苗を見せながら野菜の名前を伝え、植え方なども実際に見せながら子どもたちにプランターや畑に植えてもらった。自分たちで育てるという気持ちを持つよう取り組んだ。・色々な食材に触れ、食材の形・香りなどを知り、給食や食材に興味を持つように努めた。・心身の発達の糧にある乳幼児にとって、食生活は貴重な意味を持つ。食に関するかかわりを高め、家庭的な雰囲気作りや喜び、感謝を持って食事が摂れるように努めた。・季節に応じた旬の野菜を使い、行事食、郷土料理を取り入れ変化にとんだ給食であるように工夫した。・手作りおやつやクッキング保育によって素材に触れ食べ物に親しみを持つようにしながら、食事マナー等の食習慣を身につけ、健康な体作りを図った。

⑦ カウプ指数 (肥満度指数) 4年度

クラス (年齢)	1学期平均 (5月)			2学期平均 (11月)			3学期平均 (3月)			年間 クラス 平均 指数
	身長c m	体重K g	指数	身長c m	体重K g	指数	身長c m	体重K g	指数	
ひよこ組 (0歳)	69.1	8.9	19	74.8	9.7	17	77.5	10.2	17	18
りす組 (1歳)	82.5	11.2	16	87.3	12.1	16	90.1	12.8	16	16
うさぎ組 (2歳)	91.7	13.2	16	94.8	14.1	16	97.4	14.9	16	16
ぱんだ組 (3歳)	99.5	16.1	16	103.2	17	16	105.2	17.9	16	16
ぱんだ組 (4歳)	104.5	16.9	15	108.3	18.1	15	110.3	18.6	15	15
きりん組 (5歳)	113.0	20.0	16	116.4	21.3	16	118.4	22.3	16	16
平均	16			16			16			16
評価の基準	13未満 やせすぎ 19から22 太り気味			13～15 やせ気味 22以上 太りすぎ			15～19 標準 30以上 肥満			
感想	・未満児は後半に体の動きが活発に動かすことが出来るようになるため指数が減っていき、以上児は体を動かすことにより食事の食べ込みなどが出来るようになるため指数が増えた。が近年、やせ気味の子が増えてきており、新たに家庭での食生活の見直しが必要になってきているように感じる。以上児はやせ気味の子と太り気味の子がいて、どちらも偏食気味な子が家庭で野菜をあまり食べず好きなものを好きなだけ食べる傾向にある。食生活については食育日より発信しているが、食についての関心が薄いように感									

<p>じる。興味を持ってもらえるように取り組みを考えないといけないと思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の運動会などの行事等で体を動かさずので体力作りに合うような献立を目指して提供した。 ・肥満指数は平均では標準になっているが、最近をよく食べる子と食べない子の差が出てきている。極端に痩せている子や肥満な子はいないが、なるべく皆が同じくらいに食べてくれるように工夫していきたいと思った。

⑧ 食育活動（絵本 紙芝居 人形劇 カルタ）

絵本	紙芝居	人形劇・カルタ パネルシアター・お話
<ul style="list-style-type: none"> ・たべるのだいすき！みんなげんき ・くまおさんのカレーライス ・からだのなかはどうなっているの？ ・やさいのクリスマスおおさわぎ ・ひなまつりのちらしずし ・おいもほり ・おいしいあじのおてつだい ・すきなたべものなあに？ ・もぐもぐ、ぱくぱく おいしいね ・おやすみなさい ・おおきくなるっていうことは ・やさいもぐもぐ ・なつやさいのなつやすみ ・にんじんとごぼうとだいこん ・ライオンさんカレー 	<ul style="list-style-type: none"> ・おやおやもったいない ・にんじんさん だいこんさん ごぼうさん ・いっしょがいいね ・じゃがいも じゃがいも さつまいも ・ふらふらふーちゃん おたすけメニュー 	<ul style="list-style-type: none"> ・ピーマンマンの人形劇 ・食育ジャンボカルタ ・食育カルタ ・おべんとう ・配膳の仕方 ・よふかし大魔王 ・ななくさがゆ
	感想	
	<ul style="list-style-type: none"> ・今年は年齢で分かりやすい内容を選んであったので、子どもたちはいつもよりも理解していたように感じた。 ・以上児になると興味を持ち、聞いた話を思い出しながら実際にできているかを確認していた。 ・未満児では子供が分かりやすいような内容の絵本などを選んで少しでも食物に興味を持てるように工夫して読み聞かせていた。 ・少しでも食事などに興味を持てるように意識づけを各クラスなりに取り組んでいた。その時期に応じた内容を選んで子どもたちに季節や行事食等の食べ物に興味を持てるように選んでいた。 	

Ⅶ 保護者の会主催行事・保護者支援事業の状況

1) 地域活動事業

	内 容
① 子育て支援事業 *エンゼルキッズ 主催	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
② 子育てマップの会開催 *会場と開催日会場持ち回り	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
③ 子育ての集い開催 *主催 *協力 *開催日と場所	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
⑤ 夏祭り (保護者の会主催)	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
⑥ 運動会 10/10 (土)	<ul style="list-style-type: none"> *縮小にて実施 今年度は午前中で解散 保護者の参加者も子どもと同居人の2名までと限定。親子競技は密を回避するために中止。参加人数も限定した為さほどの混雑も回避できると思ひ専門の警備もおこななかった。 *子どもたちの種目は例年通り行う。

⑦ クリスマスお祝い会 12/12 (土)	*縮小にて実施、出し物等に関しては例年と変わらなかった *保護者の参加者は運動会と同じで、子どもと同居人の内2名までと限定 保護者の皆様にはソーシャルディスタンスを守って頂き参加して頂く。 *サンタさんの登場や手作りケーキの手渡し等も各クラスで渡すなど細やかな配慮の中で無事終わり保護者の皆様からも喜ばれていた。
⑧個別面談 (開始初年度平成21年度 「保護者支援」として位置 付けたい)	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
⑨拡大会議	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止

2) 世代間交流事業

① フォレスト熊本交流会 老健施設訪問 交通手段：往⇒徒歩30分 復⇒施設の公用車	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
② 秋の高齢者と園児の ふれあい広場	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
③ 春の高齢者との交流 (平成29年度より開始)	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止
④ 敬老の集い	コロナウイルス感染症拡大防止に伴い中止

3) 早朝・延長保育事業実施状況

(統計は月～金 早朝保育時間 7:00～8:00 延長保育時間 18:00～19:00)

実施.年月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計(名)
2年度 保育日数	25	23	26	25	25	24	27	23	24	24	22	26	294
3年度 保育日数	25	23	26	26	25	24	26	24	24	24	22	26	295
4年度 保育日数	21	23	26	25	26	24	25	24	24	23	22	26	289
2年度早朝	201	153	276	181	157	219	218	163	182	185	180	204	2319
3年度早朝	211	180	281	232	241	234	271	254	251	176	184	290	2805
4年度早朝	153	273	293	209	248	251	235	230	249	250	276	279	2949
2年度延長	105	94	128	112	116	118	113	122	123	152	165	239	1587
3年度延長	190	175	194	197	155	146	194	201	208	153	134	233	2180
4年度延長	101	123	181	126	146	192	177	164	172	140	119	175	1816

比較	年間総数 (名)	月平均 (名)	一日平均 (名)
2年度早朝	2319	193.3	7.8
3年度早朝	2805	233.7	9.5
4年度早朝	2949	245.7	10.2
2年度延長	1,587	132.3	5.4
3年度延長	2,180	181.6	7.4
4年度延長	1816	151.3	6.2

*早朝保育：7：00開園 早出の職員は6：50出勤 一月に2～3回 1日70分の早出勤務 その後は普通勤務となる。

*延長保育：平成22年度途中より職員の超過勤務の軽減のため、最後の迎え後の10分を加算して超過勤務時間とみなしている。

*延長保育利用料（標準時間）として平成20年度後半より18：00から18：30までを200円徴収し 18：30を過ぎると100円加算して徴収している。短時間保育の方々は8：45～4：45を設定している短時間保育の方も年間4～6人程度は留用があつている。

*職員は1月に2～3回の居残りがあり早朝 延長合わせて平均4～5回の回数でローテーションを組んでいる。

Ⅷ 職員研修

1) 派遣及びオンライン

研修区分 主催者	研修内容	人数	研修方法
法人	会計研修会	2	対面
熊本市	給食説明会	1	オンライン
	食育推進地域研修会	1	対面
	人権保育教育研修会	1	〃
	食品衛生	1	オンライン
	市社協 労務管理	2	〃
保育園連盟	合同研修「医療的ケア児～」	1	対面
	主任保育士会	2	〃
	保育士・調理師合同研修	1	〃
	障がい児保育研修会	2	〃
	食育推進ネットワーク	1	〃
	「支援を繋ぐネットワーク」	1	〃
	保健衛生研修会	1	オンライン
	色彩セラピー	1	対面
	「子どもの愛着形成と保育士の役割～」	1	〃
	給食部会研修会	1	〃
	絵本読み聞かせ・わらべうた講座	1	〃
	人権保育(教育)	1	〃
	危機管理研修	1	〃

研修区分 主催者	研 修 内 容	人数	研 修 方 法
熊本市教育委員会・熊本県	新規採用保育士研修	4	対面
	園長研修会	1	〃
	人権「同和」教育研修会	1	〃
	給食担当者研修会	1	オンライン
	近隣小学校訪問研修	1	対面
全国	保育職員の危険予知能力セミナー	1	対面
	感染症対策セミナー	4	オンライン
	カトリック園の使命とは～	1	〃
	保護者支援セミナー	1	〃
	乳幼児の保育実践	1	〃
	事故予防セミナー	1	〃
	造形表現	1	〃
	熱中症対策セミナー	2	〃
その他	上田事務所労務研修会	7	オンライン
	パワハラ研修	9	〃
	小計	59名	対面 27 オンライン 35

感想

コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながらの研修参加であった。
回数も参加者も限られた中ではあったが、オンラインでの研修等々に慣れてきており、体験も増え研修会の機会も増えつつある。
経済的にも経費節減はでき、今後は参加者も多くできると考える。しかし対面研修も良い面があることも否めない。

2) キャリアアップ研修及び単位取得状況

【平成30年度～令和4年度 4年間の取得分】

令和5年3月31日現在

職域・必須単位	氏名	取得単位	残単位
副主任2名 4分野必須	A	7分野	必須分野は } クリアする
	B	6分野	}
専門リーダー 2名4分野必須	C	7分野	必須分野は } クリアする
	D	6分野	}
	E	6分野	}
分野別 リーダー 7名1分野必須	F	5分野	残・分野 } クリアしても質の向上に向けて研修継続
	G	2分野	}
	H	6分野	}
	I	5分野	}
	J	4分野	}
	L	2分野	令4年度より開始 研修継続
	M	2分野	同上
主任保育士1名	K	1分野	済(マネジメント) 随意受講

※ 令和4年度より上記のメンバーの研修は必須条件となっている。なお上記メンバーは処遇改善手当が各職務に応じて支給されている。研修のための資格条件として園長の推薦が必要となっている。

キャリアアップの取組に対する体系

上記キャリアアップ受講の研修費用と研修日数(時間)は公認、但し交通費は自己負担。日当なし。この研修は各個人の取得科目になるため全面的に公用とすることを避けた。1分野につき15時間を要するため2

日半の日数を要する。現状として上記の取得単位については熊本県主催の研修に参加のため研修費に係る費用負担はない。参加費等が発生した場合は園負担とする。研修期間が長い間その間の日常の保育は他の職員で補うことになる。お互い理解し合いながら進めている。全員が全分野取得を目指し、保育の質の向上を図るねらいがある。上記の該当者のみではなく経験年数が不足等の職員も時期がくれば次のステップとして分野取得を考えている。4年度においてはコロナウイルス感染症拡大に伴うリスクが生じオンライン研修のみであった。

3) SDS 園内研修及び福利厚生

種 類	内 容
1) 法人の精神	<p>* 聖嬰会の精神を深め保育に生かす努力を続ける</p> <p>* 24年度より職員会議の前に創立者の伝記や遺稿を読みながら、法人の精神を深めていくための手段としている</p> <p>* 朝礼を行う時間のゆとりがないため、朝礼伝達表をとおして「典礼」「創立者の記念すべき日」「修道会の記念日」等を思い起こす記事の掲載に努めている</p> <p>* 講話等により理解できる範囲で互いに聖嬰会の精神に沿った保育及び園の方針に沿った活動ができるようにその都度熟考しながら進めている。</p>
2) 歌唱指導 初年度 (H18.4開始) R3.3.31現在 15年目終了	<p>指導者：岩代千加子先生⇒地元の声楽家 サークル等を主催 コンサート等を開催</p> <p>実施日：6/25 10/23 11/2 12/16 1/28 2/19 3/18 計7回</p> <p>(コロナウイルス感染症拡大防止のため年間レッスンは少ない)</p> <p>* 本格的な声楽家の訓練に戸惑いながらも続けている 指導者の優しさの中にも本音の指導に傾きつつ質の向上に努めている。毎年春には「お花見コンサート」が県立劇場で行われ本園は賛助出演で招待を頂いての参加となっており3/12に舞台に立たせて頂き、保護者様も喜んでおられた。</p>
3) 救急訓練	<p>* 「人口呼吸器118ユニット」により毎月全職員で訓練の日を設けて実施している。全職員誰いつでも使用できるよう、年に1回は発売元の方が来られて器具の点検と訓練指導が行われている。なお実際の酸素ボンベを使用しているため訓練で使いきりの時は「酸素ボンベ」の交換を行う。</p> <p>※令和4年度の訓練日</p> <p>4/9 5/13 6/9 7/8 8/4 9/3 10/16 11/2 12/2 1/7 2/2 3/2 計12回</p>
4) 職員福利厚生 (職員研修旅行)	<p>* 職員の研修親睦旅行は昨年度と同じく今年度も日程の都合が合わず中止となる。</p> <p>職員親睦会 (歓迎会・年度初め会・忘年会・お別れ会等弁当や仕出し)</p>
5) 健康診断	<p>* 今年度は9月,11月に実施。要精密検査の職員は個人で受診を済ませていた。</p>
6) 細菌検査	<p>* 細菌検査：赤痢菌 サルモネラ菌 O-157</p> <p>受検者：調理担当者2名 乳児担当者5名 主任保育士1名 園長 計8名</p> <p>* 毎月実施</p>
7) ノロウイルス	<p>* ノロウイルス抗原定性：調理師2名 年1回・・・結果 1/6 2名共に陰性</p>
8) 退職共済会	<p>* 福祉医療機構退職共済加入</p>

XI 全体動向

月日	子どもの動き	運営管理面から
4/ 1	始園式	
5	入園式 (中止)	

18	幼年消防クラブ編成式	
22	誕生会	
30	クラス懇談会	
5/ 2	こどもの日祝福式	
10.11	蟻虫検査	
16	健康診断	
20	お見知り遠足	
31	聖母行列	
6/ 2	フッ素塗布 0～2 歳	音響設備 959.200 円
10	カレー作り	
11	バルサン消炎	
16	環境学習	
17	誕生会	
25	ワックスかけ	
29	プール開き	
30	夏祭り (中止)	
7/ 7	七夕まつり	庇雨漏り修理 99.000 円
15	誕生会	
25	夏季混合保育開始	
8/ 5	熊本市指導監査	オルガン購入 166.320 円
19	誕生会	
26	水泳大会	
	混合保育終了	
9/9.10	お泊り保育	排煙窓オペレーターボックス取替 132.000 円
15	敬老の集い(園児のみ)	
16	誕生会	
10/ 6	運動会予行練習 I	
13	" II	
15	運動会	
20	フッ素塗布 II	
21	誕生会	
27	秋の遠足	
11/ 9	保育参観	芝張替え 82.500 円
10	七五三祝福式	植栽植替え 143.000 円
16	健康診断	
17	園外保育	
20	感謝デー(中央消防署)	
24	" (機動隊)	
25	誕生会	
12/ 1	お祝い会予行練習 I	
6	" II	
8	シルエット劇場	
10	クリスマスお祝い会	
16	誕生会	
23	クリスマスパーティ	

1/	4	正月の集い	
	12	だご汁会	
	14	餅つき会 (中止)	
	20	誕生会	
	26	かるた大会	
2/	3	節分	
	9	フッ素塗布Ⅲ 焼き芋会	
	16	縄跳び大会	
	17	誕生会	
	24	マラソン大会	
3/	2	修園遠足	
	3	ひな祭り会	
	6.7	Aクッキー作り	
	8	幼年消防クラブ修了式	
	10	3月誕生会・お別れ会	
	12	お花見コンサート	
	23	次年度入園説明会	
	25	卒園式	

環境部写真係

写真配布回数 9回

アルバム代徴収回数 5回

～感想、反省～

- ・アルバムの仕事は4月に前もってしておいたので、年度末は貼り出しの仕事に集中することができた。
- ・卒園記念写真の集計、代金の徴収が滞ってしまった。卒園記念写真の見本に値段が書いていなかったの、すぐに気づいて野田写真館に電話するべきだった。値段が前もって分かれば、職員、子どもの徴収もスムーズにいくと反省した。
- ・行事が多い時期は写真係の仕事も忙しいし、クラスのことも忙しいので、忙しい中写真の仕事に取り掛かる人、取り掛かれない人とした。クラスの人員配置なども考慮しなければならないので難しい所だが、公平に協力して仕事をする事の難しさを感じた。写真の注文は複数人で注文するとどこまでしたか分からないので2人でやったほうが良いと思うが、貼り出しや配布、は複数人でした方が早いので、改善していけたらと思う。

～次年度に向けて～

- ・アルバムの一人当たりの割り当てが増え、一人で4つの行事の壁面を作る人も出てきた。さすがに4つは負担が大きいので、アルバムを小さいもの変更したり、アルバムの行事を少なくしたり、次年度は変えたほうが良いと強く感じた。
- ・園外保育などの行事で集合写真を撮り忘れることがあり、例年より写真の枚数が減ることがあった。園外で引率した職員は必ず写真を撮るのを覚えておいて欲しい。
- ・運動会、お祝い会の展示、WEBの掲載期間を1週間と去年より短くした。ほとんどの方がWEBで注文していたが、展示を見に行く保護者のかたもよく見かけた。野田写真館から全面WEBに切り替えませんかと提案もあったので、園全体で話し合っどうするか決めたい。

(毎月の標語)

月	内容
4	祈るときわたしたちは神様の愛の光になります。
5	小さなことも大きな愛をもって。
6	ゆるすには大きな愛をこころにもたなければなりません。
7	あなたはきっとわたしの天使 わたしもそっとだれかの天使
8	わたしたちのすることは大海のたった一滴の水に過ぎないかもしれませんが でもその一滴の水が集まって大海となるのです。
9	そこにいても いいよ ずっといても いいよ。
10	そのままいてね そんな君が大好き
11	輝く流れ星終わりははじまり
12	生きよう こわがらないでだいじょうぶ生きていける
1	あなたがそこにいてわたしがここにいるふしぎ
2	美しい希望はいつか美しい現実
3	あなたが生まれた日空いっぱいの天使がうたった

反省

- ・目を惹くように飾りつけを頑張りたい。
- ・一目でわかるような標語を選んだり漢字も読めるようにふりがなをつけたら良かった。
- ・声を掛け合い忘れずに月始めに掲示するようにした。
- ・今年度はホワイトボードに写真が掲示されることが多かったため、室内に掲示することができない月もあった。

Ⅶ 令和4年度の取り組むべき課題に対する対応

1) 施設・設備整備等に係る事項

課 題	金 額	対 応
音響システム更新工事	¥959,200	KK アイティコミュニケーション
砂場用の砂	¥20,000	青山商事有限会社
庇雨漏り工事	¥99,000	公一建設

2) 労働環境

1 休日と有給休暇の取得を効率的に行う

- ・バースデイ休暇制を導入する＝ほぼ全員の職員が休暇を取得していた。「バースデイ休暇」と銘打つことで休みが取りやすかったようである。(今年度で5年目が経過)
有給休暇の取得率は59.1%、それほど高くはないが時間給での取得も多くなってきた。
- ・時間内の退勤と休憩の利用＝時間内の退勤は概ね守られていたようである。短時間勤務者の職員は時間通りの勤務が概ね出来ていた。ただ休憩時間が十分利用できない。
休憩室が確保できていないのは難点である。
- ・働きやすい職場作り＝職員間の風通しを良くすることは何よりと思う。よく協力し、声掛けを行いながら仕事が進められていた。行事の時多忙な時はお互いに思いやりを示しつつ事が運んでいた。若手職員が多くなる中で、中堅職員は良く声掛けを行いながら進めていた。

2 働きやすい職場作り

※職員間の風通しが常に良好であること。

- ・各自が努めていたように見受ける。職場内での出来事はできるだけオープンであるように努めた。

※問題意識を共有できる職場であること。

- ・お互い自分の立場、係等を理解しながらそれぞれに努めておられたように思う。

3 保護者との関係

- ・透明性のある園作り・・・「ホームページ」には情報公開（財産目録、資金収支計算書、事業活動計画書、貸借対照表、事業報告書）を行う。その上毎月の行事予定、給食便り、保健衛生関係のすくすく便り等及びお知らせをホームページに掲載している。今年度はHPの書き換え、貼り付けが思うように出来ていた。
- ・連絡帳等を通して感じさせられるものとしては、「子どもの立場で」ことを見て頂ける保護者の方が少なくなってきたように感じる。子どもの健康面だけではなく気持ちの面においてももう少し・・・と思うところがあるように思う。しかしこれらを含めて保育園が抱えている課題かもしれないと思う。考え方 とらえ方の相違を感じる。
- ・保護者の皆さんも園に対しては比較的好意的に見て下さっているように感じる事も見受けられる。